



報恩講御礼

十月に緊急事態宣言が解除され、十一月一日〜三日の報恩講を迎えることができました。皆さまのお取り持ちと多くの方々ご挨拶のもと、従来通り報恩講が厳修されました。誠に有難く、厚く御礼申し上げます。今年も九十五名の方々が帰敬式を受式されました。

南無阿弥陀仏の人生

二〇二三年には立教開宗八〇〇年の記念法要が本山で厳修されますが、そのテーマは、「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」です。人と生まれたことの意味をたずねることは、言われずとも私たちは人生の節目節目に考えてきましたし、今後も大切にしたいと思っています。しかし、お念仏の立ち位置で、人と生まれたことの意味をたずねていくかが問われています。

「南無阿弥陀仏」をぬきに人生を考えると、大事な一点がぬけ落ちてしまいます。念仏に立つて人生を考える時、人と生まれたことの意味をたずねる、と同時に「人として死することの意味をたずねる」ことまで入ってきます。念仏をぬきにすると、これがぬけ落ちてしまいます。「生」も自分なら「死」も自分です。生死は表裏一体です。みんなこのことはわかっています。しかし考えた末にやることは生命保険とかその時のための貯金しか考えが及ばず、生きることに死することとは別のことを思ってしまう。むしろ死を考えることは、縁起でもない。

ことにしてしまいます。

日頃そう思っている人の人生の最後は、縁起でもない人生として終わることになります。結果がそうですから、そこから人生をふり返ると、縁起でもない生き方をしていた人になります。縁起でもないことですから、こちらに影響のないように期日を選び塩をまくことになります。死者も生者も縁起でもないことを互いにくり返し流転していく。これは仏教徒の生きざま死にざまではありません。生も我、死も我、大切にその意味をたずねていこうではありませんか。

蓮如上人は、親鸞聖人の「ご命日」について、「今日は親鸞聖人のご明日として」と『御文』に書いておられます。「命日」を漢字を変えて「明日」と書き、「メ イニチ」と読むようルビが振ってあります。親鸞聖人の「ご命日」は、自分にとって、お念仏に深く出遇っていく、明るくなっていく、大切な日だと教えてあります。報恩講は親鸞聖人の「ご命日」を縁として仏法聴聞することです。すなわち、私たちにあって、「明日」となっていく出発日の、年々の再確認なのです。

高山別院輪番 三島 多聞



高山別院お煤払い奉仕のお願い

十二月二十一日(火) 午後一時より、本堂のお煤払いを行います。一年の汚れを落とし、新年をお迎えします。ぜひともご奉仕をお願いいたします。



※持参品 マスク・タオル・軍手など

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

28日 親鸞聖人ご命日法座

12月

講師 白尾 匡氏 (長圓寺住職)
講題 「続・街道と真宗寺院」

講師 宮川 暁声氏 (映芳寺住職)
講題 「娑婆の縁つきて」

除夜の鐘と修正会

— お正月も飛騨御坊にお参りください —

高山別院では年越し前から除夜の鐘つきが始まり、年が明け、午前0時から本堂にて修正会が勤められます。修正会は、一年の初めに莊嚴を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ仏事です。ぜひ、高山別院にお参りいただき、新年の歩みを始めましょう。



除夜の鐘

12月31日(金) 午後11時45分

修正会

1月1日(土) 午前0時
1月2日(日) 午後1時
1月3日(月) 午後1時

輪番 氏 氏 氏
三島 多聞
小原 正憲
窪田 純

仏教×グリーンフケア ⑬

尾角 光美

「弔い」を奪わせない

最近出張が復活し、先日は広島に僧侶の研修講師として呼ばれ、行ってきました。せっかく移動をしたので、地元の生の声を聞きたという思いがありました。というのも、ここ最近、都内のお坊さんから「火葬場でお経のみ」という直葬の形が増えていると聞いていたという背景があります。広島

の地元のお坊さんたちに「直葬は増えていきますか？」とお尋ねしたところ、「最近、少しずつ増えてきているように思う」というお答えでした。「以前は全くなかった

けれど」と。ある研究結果によると、コロナ下で、葬儀や仏事の縮小が進み、とりわけ首都圏では昨年一日葬などの葬儀の簡素化を経験した寺院が八割にものぼりました（大正大学地域構想研究所調べ）。葬儀の縮小、簡素化は、コロナ以前から話題にのぼることはありましたが、コロナ下で一気に加速しているように感じます。この影響はどのようなところに出ているのでしょうか。弔う人が少なくなるということは、死者を共有できる人も限られるということ。

先日、リヴオンに『コロナ下で死別を経験したあなたへ』を取り寄せてくださった方から「県外からの葬儀の参加を断られ、参列することができず、大事な人をなくした実感がもちにくい」という声を聞かせてもらいました。葬儀や

「集まらないからしょうがないね」とあきらめるだけではなくて、想いを寄せることの工夫もできるかもしれません。たとえば、亡くなった人への想いを一言ずつ手紙にしたためて集めたり、思い出のエピソード集めとか、写真を寄せ

てみんなで見えるようにするなど、一族の中にちよつとパソコン、デジタルなことができれば、人がいたら、その人の力を借りて、工夫できるかもしれません。

「オンラインで葬儀をやりましょう」というほどのことはなくとも、ライン通話などを利用して遠くにいる親族に参列してもらってもよいかもしれません。

大事なのは弔いの場、時間をとることを、コロナによって奪わせないということではないでしょうか。コロナによっていろんなものを私たちは失っています。気軽に出かけられる日常、安心感、安全、外で飲んだり食べた

次号の『ひだご坊』発行は1月3日となります。

第40回 真宗公開講座 (第2回)

12月16日(木)14時～〈参加費500円〉

講師 朝戸 臣統氏 (本願寺派飛騨組神通寺住職)

講題 「無明の闇を照らすともしび」 会場 高山別院

子ども向け 真宗バラエティ番組

「ごぼうチャンネル！」

第7回 放送予定

期 日 12月1日～31日 毎日 期 間 午前11時15分～30分 午後5時30分～45分 放送局 ケーブルテレビ Hit net TV! 問合せ先 (080-200-8688)



ひだご坊 一口法話

URL: https://hidagobo.jp/sermon/

12月1日から31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- ・北條 秀樹氏 (了泉寺住職) ・澤邊 恵亮氏 (誓願寺住職) ・三島 多聞 (別院輪番) ・帰雲 真智氏 (還來寺住職) ・小原 正憲氏 (専念寺住職)

お仏壇 ほりお 全国発送も承ります 仏壇工芸 高山市三福寺町369-7 TEL 0577-33-6686

ブックス・アイオー 日が短くなりました 家族みんなで読書の秋 TEL0577-341-7668

大谷婦人会 12月11日(土)午後1時から 定例法座 三島多聞別院輪番

久寿玉 KUSUDAMA 平瀬酒造店 TEL 34-0010

温度差でおくる 寒いタオル貼の浴室をそのまま断熱リフォーム 暖かいお風呂で快適入浴

相続 相談無料 河合亮一司法書士事務所 TEL 0577-351-117

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい お墓のお悩み、ご相談ください。 株式会社 奥田石材 OKUDA TEL 0577-33-9601